



海と緑と歴史の恵みに抱かれて…  
…出会いから活力の花ひらく町



# 南越前町総合計画 《概要版》

MINAMIECHIZEN MASTER PLAN



福井県

南越前町長

増澤善和



私たちのまち南越前町は、平成17年1月1日に、南条町・今庄町・河野村の3町村が合併し、南条郡に1町の「南越前町」として誕生しました。

合併時に策定した「南越前町まちづくり計画」に基づき町民の一体感の醸成に努め、目標である将来像「海と緑と歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町」を目指したまちづくりを進めてきました。

今日、少子高齢化の一層の進展、人口の減少、産業構造の変化、情報技術の高度化、地方分権の推進など、大きな変革期を迎えており、こうした時代背景を的確に捉えつつ、新たな課題に取り組むことが求められています。

こうした変革の時代にあって、新時代にふさわしいまちづくりの方向性を示し、町民の皆様が郷土愛を育み、「町民との協働」のなかでみんなが一緒に力を合わせて創り上げるまちづくりの指針として「南越前町総合計画」を策定しました。

私は、この総合計画を実現するための基本的なキーワードとして「対話」「調和」「融和」を根本にすえた行政サービスの提供を進めたいと考えています。よく話し合いながら政策に取り組み、全体が程よくつりあってまとまりながらまちづくりを進め、心を溶け合わせてひとつになら町民や地域社会が主人公の新しいまちを築いていきます。

今後この総合計画を進めるにあたっては、地域に生きづくそれぞれの歴史・文化・伝統を生かし、町民の皆様の参加・参画・協働による効率的で効果的な施策を展開するとともに、行政基盤の強化に努め、豊かでゆとりのある生活が実感できる魅力的で活力あるまちづくりを進めていきます。

終わりに、この計画の策定にあたり、町民意識調査に貴重なご意見、ご提案を賜りました町民の皆様をはじめ、熱心なご審議をいただきました審議会委員の皆様並びに関係各位に対しまして心から感謝申し上げます。

平成19年3月

## 目次

計画のあらまし.....	2
町のすがた.....	3
計画の基本指標.....	4
ゾーニング別まちづくり.....	5
まちづくりの5つのプロジェクト...	8

## 町民指標

愛します 豊かな自然 海・山・里  
つくります すこやかな心とからだ  
育てます 助け合う優しい人とまち  
伝えます 未来に向けた歴史と文化

## 計画のあらまし

### 趣旨

南越前町は、平成 17 年 1 月 1 日に福井県南条町、今庄町、河野村の 3 町村が合併して誕生した新しい町です。この計画は、これまでの「行政主導・町民参加」のまちづくりから「町民主体・行政支援」の新たなまちづくりの仕組みを構築し、町民と行政が協働してまちづくりを進め、すべての町民が安全に安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指し、総合的、計画的な行政運営を図るために策定するものです。



### 構成と期間

#### 基本構想

新町建設計画「南越前町まちづくり計画」の基本理念を継承し、地域発展に向けた指針と、真に豊かなふるさと「南越前町」の実現に必要な大綱を示します。

計画期間 10年

平成 19 年度（西暦 2007 年）～平成 28 年度（西暦 2016 年）

#### 基本計画

基本構想に定められた大綱に基づき、市町村合併による効果を最大限に創出するために新町建設計画「南越前町まちづくり計画」の基本施策を尊重し、国・県事業との連携を保ちながら、本町の総合的かつ一体的な整備に必要な施策について定めます。

計画期間 10年

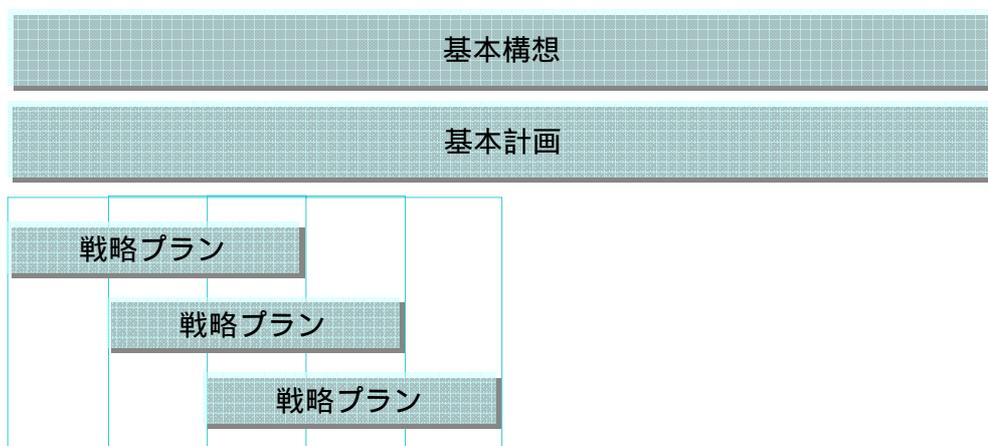
平成 19 年度（西暦 2007 年）～平成 28 年度（西暦 2016 年）

#### 戦略プラン（実施計画）

基本計画に掲げる施策を戦略的かつ重点的に実施するための実施計画を具体的に定め、毎年度向こう 3 年間に計画期間とし、これを毎年見直すローリング計画とします。

計画期間 3年

計画の期間



▲  
平成 19 年度  
(2007 年度)

▲  
平成 28 年度  
(2016 年度)

## 町のすがた

### 地勢

南越前町の位置（東経 136°12 北緯 35°50 ）

本町は、福井県のほぼ中央、嶺北地域の南端に位置し、北は、越前市、越前町と池田町、東および南は岐阜県・滋賀県、西は敦賀市と日本海に接する山・海・里の地形の変化に富んだ自然豊かな町です。

町土面積は福井県全体の 8.2%にあたる 343.84 k<sup>2</sup>を有します。



### 歴史とあゆみ

平安時代に敦賀から木ノ芽峠を越える「北陸道」が開かれ、近世には栃ノ木峠越えの「北国街道」が整備されるなど、都と北陸を結ぶ陸路の玄関口でした。また、南北朝時代には岫山に「瓜生 保」が居城するなど戦略上の要衝であったとともに、今庄や鯖波、脇本には本陣が置かれるなど宿場町としても賑わいました。

また、海路は、中世に敦賀湊と河野浦などが結ばれ、江戸時代中期から明治時代中期にかけ、蝦夷地（北海道）をはじめとした日本海諸港と瀬戸内・大阪を西廻り航路で往来した「北前船」によって、海運業が栄えました。

明治 29 年には、町の中央の日野川に沿うように国鉄北陸線が開通し、今庄駅には機関区が置かれ、「鉄道のまち」として賑わいをみせましたが、昭和 37 年の北陸トンネルの開通と複線電化により、今庄機関区は、その役割を終えました。

昭和 43 年には、河野海岸線一体が「越前加賀海岸国定公園」に指定されるなど、風光明媚な海岸線と、越前ガニや越前水仙などを求めて多くの観光客が訪れるようになりました。

昭和 52 年 12 月に北陸自動車道が開通し、福井県内で唯一、南条 SA が設置されるとともに今庄 IC が開設され、地域経済の発展や余暇活動の活発化などに影響を与えました。

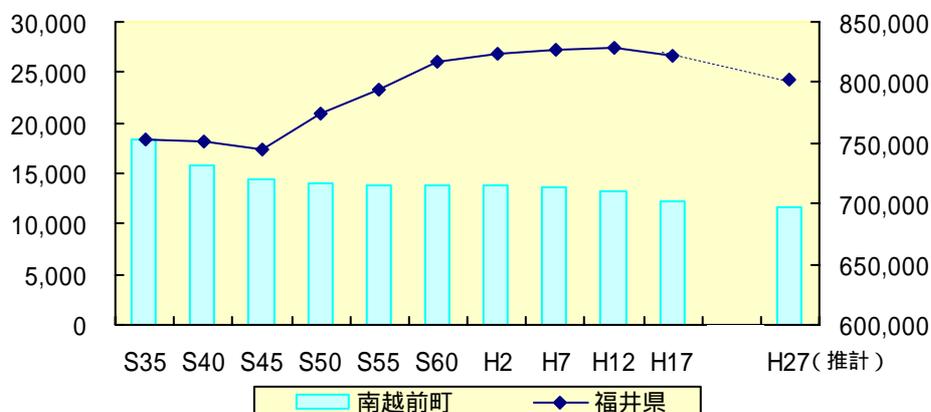
### 人口・世帯・産業構造

平成 17 年 10 月 1 日現在の国勢調査によると総人口は 12,273 人で、福井県の人口の 1.5%を占めています。昭和 35 年ピーク時点の人口 18,311 人と比べて 45 年間で 6,038 人、33.0%減少しており、現在のペースで推移した場合、平成 27 年には 11,652 人になると推計されています。

同じく国勢調査によると世帯数は 3,542 世帯で、平均世帯人員は 3.5 人と年々減少しています。

また、産業構造は、平成 12 年の国勢調査によると、本町では、6,874 人が就業しており、第 1 次産業人口が 7.4%、第 2 次産業人口が 43.7%、第 3 次産業人口が 48.9%を占めています。

人口の推移



平成 27 年推計値は人口問題研究所による推計値

資料：国勢調査

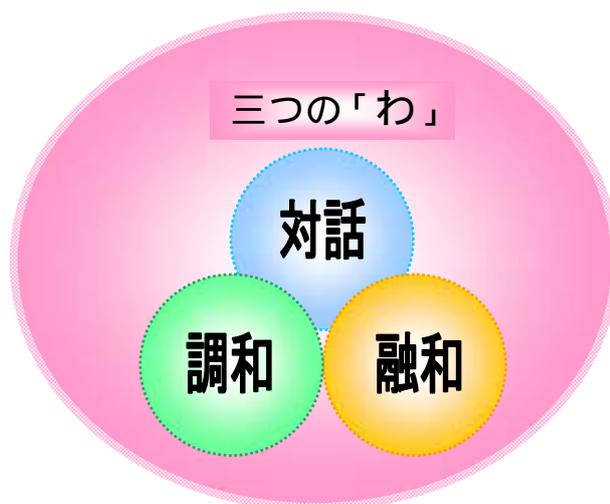
## 計画の基本指標

### 基本理念

海と緑と歴史の恵みに抱かれて、<sup>いだ</sup>出会いから活力の花ひらく町

### キーワード

「対話」、「調和」、「融和」の三つの言葉を施策展開の基本として掲げます。



### 定住人口の目標

平成28年度(2016) 定住人口目標 12,000人

### 交流定住人口の目標

交流人口とは「まち」に住む人だけではなく、産業、文化、レクリエーションなど様々な分野で人々が活発に交流することによって、その「まち」に与える経済効果などから「まち」の活力を評価するもので、年間の観光客入込数を基礎に設定します。

平成28年度(2016) 交流人口目標 100万人

## ゾーニング別まちづくり

### まちづくりエリア

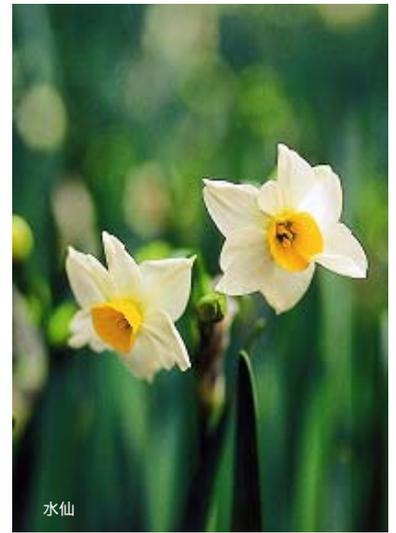
街道と海岸に沿うこの町の特性を活かしたまちづくりを推進するために、南越前町まちづくり計画（新町建設計画）に設定した5つの「まちづくりエリア」を継承します。

#### 「海を育てる森」エリア

ホノケ山を中心とした西部の山間地は「海を育てる森」のエリアとして位置づけます。

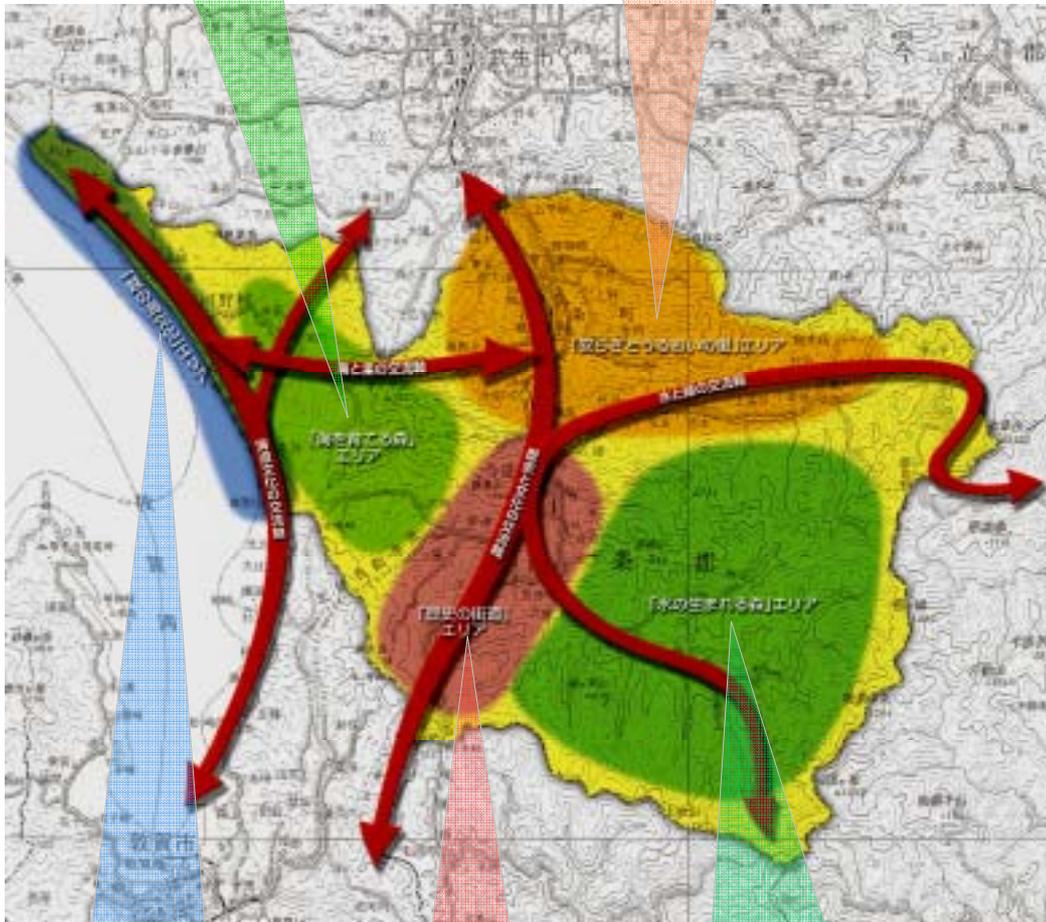
#### 「安らぎとうるおいの里」エリア

田倉川流域から南条地区までの市街地周辺に至るエリアは、山と里が出会う「安らぎとうるおいの里」として位置づけます。



まちづくりエリア・交流軸

南越前町まちづくり計画（新町建設計画）を継承



#### 「越の海文化」エリア

西部の河野海岸線一帯は、「越の海文化」エリアとして位置づけます。

#### 「水の生まれる森」エリア

南東部の岐阜・滋賀県境にまたがる森林地域は、水源として広く地域を潤す「水の生まれる森」と位置づけます。

#### 「歴史の街道」エリア

木ノ芽峠、栃ノ木峠に至る街道に沿った山間地は「歴史の街道」エリアとして位置づけます。

## まちづくりの交流軸

街道と海岸に沿うこの町の特性に合わせて、4つの軸を設定し、地域内の交流の活発化、隣接地域との連携を深めます。「まちづくり交流軸」も「まちづくりエリア」と同様に南越前町まちづくり計画（新町建設計画）を継承しています。

### 海と里の交流軸

国道305号はホノケ山トンネル（仮称）早期開通によって、海と里をつなぎ、人と人との交流を生み出し、さまざまな地域の産物の往来を可能にする地域経済の活性化にも大きく貢献する道となります。このため、国道305号の整備を新町発足の根幹をなす最重要事業として位置づけ、早期開通を目指します。また、幹線道路の整備による交通量の増加が予想されるため、地域内の安全な交通を確保するために生活道路や交通安全施設等の整備を図ります。

### 歴史と文化の交流軸

国道365号、国道476号は北国街道、北陸道として古くから人々が行き交った道です。これらの国道は、現在も関西・中京圏へ連絡する重要な動脈であり、今後も安全性を重視した機能性の高い広域的幹線道路として整備を進めていきます。

また、一般県道中小屋武生線は、交通混雑する国道365号を補完する交流軸として整備を進めます。

北陸自動車道は、地域外と連絡する重要な広域高速交通の基盤であり、JR北陸本線は、町民の生活に密着した利便性の高い公共交通機関として、それぞれ重要な役割を担っています。

### 海遊文化の交流軸

河野海岸有料道路から国道305号に至る海岸沿いの道は、国道8号と並びこの地域の重要な動脈です。特に、海岸沿いに走る国道305号は、住民の日常を支える重要な生活道路であるとともに、豊かな海の恵みに育まれた漁業や観光の振興を図る上において重要な役割を担っています。また、隣接する市町との交流を円滑に促進するため、県道、町道の整備を進めます。

### 水と緑の交流軸

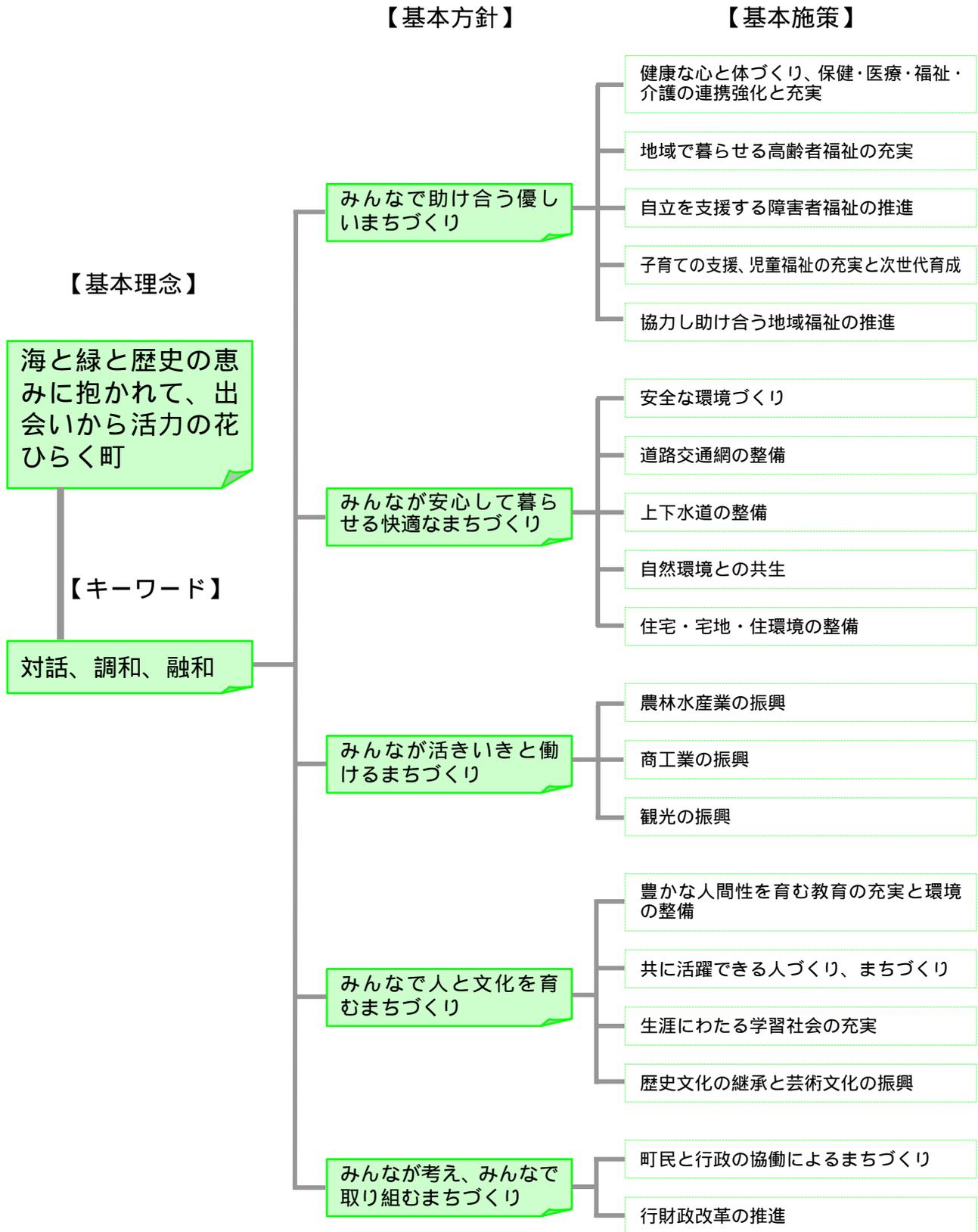
田倉川から日野川本流に至る国道476号と一般県道広野大門線を「水と緑の交流軸」として位置づけます。「安らぎとうるおいの里」エリアと「水の生まれる森」エリアを連絡するこのルートは、2つの谷の交流を促進するだけでなく、農林業の生産性の向上、森林資源を活用した観光振興を図るためにも重要な役割を担っています。



未来の南越前町図画コンテスト（小学校1～2年生の部）  
最優秀賞 網田浩人さん



「未来の南越前町」図画コンテスト（小学校3～4年生の部）  
最優秀賞 岩居洋輝さん



## まちづくりの5つのプロジェクト

基本理念である「海と緑と歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町」の実現に向け、行政と町民が一体となって新しいまちづくりにとりくんでいくために、5つの目標を掲げて、分野ごとに施策や事業を展開します。

### みんなで助け合う優しいまちづくり

誰もが住みなれた地域で安心して自立した生活を送るために、保健・医療・福祉・介護が連携して、健康づくり支援や福祉サービスの提供を行い、さらにノーマライゼーションの理念に基づき、人とひとが支えあい、心とこころがふれあう地域社会の実現をめざします。

健康な心と体づくり、保健・医療・福祉・介護の連携強化と充実  
地域で暮らせる高齢者福祉の充実  
自立を支援する障害者福祉の推進  
子育ての支援、児童福祉の充実と次世代育成  
協力し助け合う地域福祉の推進  
健康な心と体づくり、保健・医療・福祉・介護の連携強化と充実

#### 基幹となる施策、事業

- 介護保険事業計画の策定
- 保健計画の策定
- 河野保健福祉センター整備事業
- 診療所医療機器整備事業
- 老人保健施設備品整備事業
- 地域包括支援センター運営事業
- 高齢者保健福祉計画の策定
- 特定健康診査・特定保健指導計画の策定
- シルバー人材センター運営補助事業
- 敬老会開催事業
- 高齢者在宅サービス事業
- 老人保護措置事業
- 障害者計画・障害福祉計画の策定
- 障害者在宅サービス事業
- 障害児者施設入所支援事業
- 特定事業主行動計画の策定
- 幼児教育施設整備事業（今庄保育所・今庄幼稚園の統合による）
- 河野保育所園児送迎バス整備事業
- 河野児童館改築事業

## みんなが安心して暮らせるまちづくり

水と緑に恵まれた本町のすばらしい環境を生かしたまちづくりを基本とし、適正な土地利用を図り、道路交通網の整備、上下水道の整備、住環境の整備など、生活に密着した快適で安全な居住環境の整備を進めます。

安全な環境づくり  
道路交通網の整備  
上下水道の整備  
自然環境との共生  
住宅・宅地・住環境の整備

### 基幹となる施策、事業

- 地域防災計画の策定
- 消防施設・設備整備事業
- 原子力広報安全対策事業の促進
- 一般国道 305 号整備事業【県】
- 一般県道中小屋武生線【県】
- 町道改良・舗装等整備事業
- 住民利用駐車場整備事業
- 町道・集落道の整備・維持補修事業
- 簡易水道施設統合・整備事業
- 浄水場新設改良事業
- 海岸環境美化推進活動の充実
- 河川等美化愛護活動の推進
- 国土利用計画の策定
- 一般国道 305 号消雪設備整備事業【県】
- 一般県道福井大森河野線消雪設備整備事業【県】
- 一般国道 305 号河内地区消雪設備整備事業
- 住民利用バス（広域コミュニティバス）運行事業

## みんなが活いきと働けるまちづくり

町民の生活基盤の安定を図り、活力あるまちづくりを進めるため、農業、工業、商業の時代に即した新たな振興策を、環境の保全に配慮しつつ、地域特性を生かした産業基盤や観光基盤の整備と充実を進めます。

農林水産業の振興  
商工業の振興  
観光の振興

### 基幹となる施策、事業

- 中山間地域総合整備事業（南越前地区）【県】
- 森林基幹道開設（今庄・池田線、越前南部線）【県】
- 大型魚礁設置事業（嶺北地区）【県】
- 漁業共同利用施設整備事業
- 農道の整備・維持補修事業
- 林道の整備・維持補修事業
- 農業経営所得安定対策事業
- 造林補助事業
- 中小企業への支援事業
- 商工会支援事業
- 甲楽城マリパーク整備事業
- 今庄 365 スキー場施設整備事業
- 今庄 365 スキー場圧雪車購入
- 観光 PR の推進
- 観光協会広域連携支援事業

## みんなで人と文化を育むまちづくり

生涯をとおして学習できる教育サービスの提供や、豊かな人間性をはぐくむための学校教育や学校教育施設の充実を図ります。また、歴史や伝統文化の保存と活用に努めます。

豊かな人間性を育む教育の充実と環境の整備  
共に活躍できる人づくり、まちづくり  
生涯にわたる学習社会の充実  
歴史文化の継承と芸術文化の振興

### 基幹となる施策、事業

- 学校施設耐震補強・大規模改造事業（南条中学校、今庄中学校、河野中学校）
- 幼児教育施設整備事業（今庄保育所・今庄幼稚園の統合による）〔再掲〕
- 河野小中グラウンド整備事業
- 海浜青少年研修センター整備事業（併設：防災センター）
- 今庄町民グラウンド整備事業
- 男女共同参画行動計画の策定
- 総合文化祭の開催
- 各種生涯学習講座の開催
- 地区体育大会、各種スポーツ大会の開催
- 特色あるスポーツイベントの開催
- 文化・芸術鑑賞会の開催、自主的文化芸術公演に対する支援

## みんなが考え、みんなで取り組むまちづくり

町民の主体性と創意工夫によって自らまちづくりを担うため町民参画の機会を充実して開かれた協働のまちづくりを進めます。また、事務事業の見直しや施設の統廃合などにより効率的な行財政運営を進め、町民のニーズに対応した質の高いサービスを提供します。

町民と行政の協働によるまちづくり  
行財政改革の推進

### 基幹となる施策、事業

- 有線テレビジョン放送施設デジタル化整備事業
- 自治振興交付金事業
- まちづくり条例制定の検討
- ボランティア団体、NPO等による公共施設の活用促進
- 住民主体の住民参加型イベントの開催支援
- 行政改革大綱・行政改革プランの策定
- 財政計画の策定
- 公共施設合理化計画の策定
- 定員適正化計画の策定

## 南越前町総合計画《概要版》

発行日 平成 19 年 3 月  
発行 福井県南越前町  
編集 南越前町企画財政課  
印刷 〒919-0292  
福井県南条郡南越前町東大道 29-1  
0778-47-8012